

立春を過ぎ、暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。さくら公園の紅白の梅も咲き、あたたかい春の訪れが待ち遠しいです。これからは三寒四温の日が続き、徐々に暖かくなっていくでしょう！

さて、先週は不審者対応の避難訓練を実施しました。本来は補導センターの方に不審者役をお願いし、運動場から教室に避難する訓練を想定していましたが、感染予防のためリモートで訓練のねらいや対応の仕方などを話しました。子どもたちは、身を守るための学習を真剣に受けていました。ご家庭でも話し合ってみてください。

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて

オミクロン株の感染拡大を受け、高知市教育委員会から保護者の皆様にメールが送信されたことと思います。感染状況のひっ迫を受け、本県において3月6日まで「まん延防止等重点措置」が適用されることになりました。高知市内でも、この変異株の特徴である若年層への感染が拡大し、各学校は厳しい状況にあります。学校が臨時休校を行わなければならない事態は、学校内で感染拡大の恐れがあり、濃厚接触者を特定しなければならない場合が多いようです。高知市が濃厚接触者に当たる条件の目安を示しましたので、お知らせします。

<濃厚接触者の目安>

- ①感染者と長時間の接触があった者 ②適切な感染防護なしに感染者を介護していた者 ③感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つば等）に直接触れた可能性の高い者（1メートル以内の距離で互いにマスクなしで会話が交わされた場合は、時間の長さを問わずに濃厚接触者に該当する場合がある） ④手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策なしで、感染者と15分以上の接触があった者 ⑤マスクの着用なしで、合唱や呼吸が荒くなるような運動など、感染リスクの高い場面で接触した場合 ⑥感染者からの物理的な距離が近い又は物理的な距離が離れていても接触頻度が高い者等（感染者と同一の学級の児童生徒等） ⑦大声を出す活動、呼吸が激しくなるような運動を共にした者等 ⑧感染者と食事の場や洗面浴室等の場を共有する生活を送っている者等 ⑨その他、感染対策が不十分な環境で感染者と接触した者等

少しでも濃厚接触者を出さない方法は、接触している子ども同士が正しくマスクを付けていれば濃厚接触者に当たらないと判断され、臨時休校措置を取らなくてもよいことが多いようです。

2月の全校朝会で子どもたちに、「これだけ感染が各学校で広がっているのに、病気に感染してしまうことは完全に防げないかもしれないが、感染しない・させないための努力は頑張っ続けていこう」と話しました。

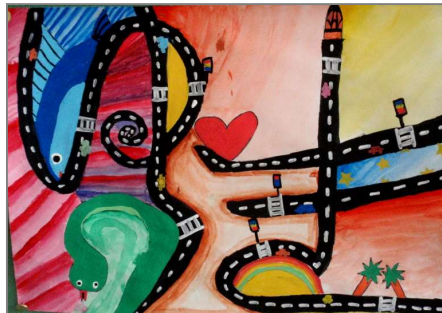
そのためにできることは、これまで通り「マスクの着用」「手洗いうがい」「ソーシャルディスタンスの確保」「部屋の徹底換気」です。各ご家庭でも、**特にマスクの着用**については、繰り返しご指導をお願いいたします。

元気になわとび

コロナ禍でも、感染予防をしながら、体力向上やストレスの発散は必要です。接触の多いボールゲーム系の運動は止めていますが、子どもたちは元気になわとびにチャレンジしています。短なわや長なわで、友達と仲良く運動しています。なわとび進級表で難しい技にも挑戦しています。お家でも話を聞いてあげてね。



校内ぶんり



返信欄